



## 歯科と全身疾患 ～腎臓病～

No.52

### 腎臓とは

腎臓は「肝腎要」といわれるように、肝臓と同様に重要な臓器の一つで、血液をろ過し、余分な老廃物や塩分を取り除くという重要な役割を担っています。腎臓のろ過機能は糸球体とよばれる場所で行われています。その糸球体は損傷しても再生しないため、機能不全や損傷した場合は塩分・カリウムの制限や人工透析が必要となります。現代人は腎臓に負荷を与える塩分摂取量が多いため、知らない間にも腎臓にダメージを与えている場合があります。2008年の日本腎臓学会による統計では、日本の成人の8人に1人にあたる、1330万人が慢性腎臓病患者と推測され、治療を要するレベルの患者も600万人あまりとされています。また、腎臓には主に3つの働きがあり、歯科とも重要な関係があります。



#### ① 老廃物のろ過と排出

血液をろ過し、老廃物や塩分を排出します。これが低下すると、体中に老廃物や毒素が溜まり、全身に影響します。つまり進行した虫歯や歯周病によって発生した毒素が全身を蝕むことになるのです。また服用した痛み止めや化膿止めの薬が十分に排泄されず、中毒症状を引き起こす危険もあります。

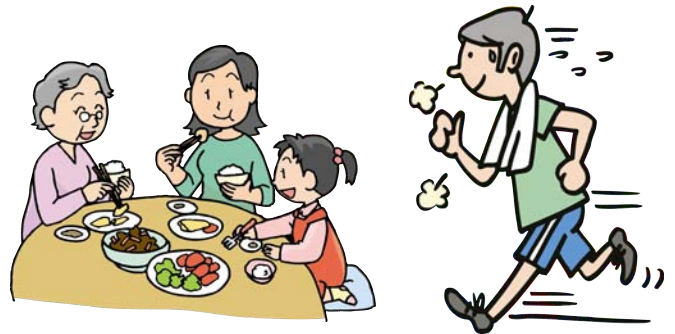
#### ② 体内の水分量や電解質の調整

これが低下することにより免疫力の低下をまねき、歯周病が悪化することもあります。

#### ③ ホルモンの分泌

主に骨を作るカルシウムの吸収に欠かせないビタミンDの活性化を行っています。これが低下すると、歯槽骨の骨量が下がり、歯周病の悪化や、若年者には顎の骨の発育不全による不正咬合を引き起こしやすくなります。

では、腎臓を守るにはどのようにすれば良いのでしょうか？それは腎臓に負担となる原因、つまりメタボリック、肥満、糖尿病などに気をつけることです。メタボリックシンドロームになると高血圧・高血糖などが原因で全身の血管が動脈硬化を起こすことがあります。その場合腎臓の血管でも動脈硬化が起こり、糸球体も動脈硬化を起こすことでろ過する能力が低下します。その結果、腎機能も低下してしまう可能性があります。つまり、食生活の改善と運動によるダイエットが必要と言えるでしょう。バランスの良い食事をして、適度な運動も心がけましょう。



### 腎臓病と歯科治療

定期的に人工透析を行い状態が安定している場合は、出血しやすい、感染をおこしやすい、傷の治りが悪い、および薬剤排泄障害に注意すれば、通常の歯科治療を行うことは可能です。例えば、透析当日に抜歯などの外科的処置は避ける、また外科的処置を行う場合には抗生物質の予防投与などで感染症を防ぐ必要があります。しかし、人工透析が定期的に行われていなかったり症状が安定していない場合には、安易に治療を行うことは難しくなります。進行した腎臓病の場合には、歯科治療を受ける際、必ず主治医に相談してください。



社団法人

## 柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

